

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	法人全体の行事には全ての利用者の家族に案内をし参加を促しているが、参加して下さる方はほぼ一緒である。入居期間が長くなる程面会の回数も少なくなっている。	短い滞在時間でもいいのでもっと足を運んでいただくよう促したい。施設と家族と共にそれぞれの立場で本人を支えていきたい。	現在提供しているケアの内容をより詳細に伝えると共にケアに対して苦情や希望があれば気軽に言って下さるような雰囲気を作っていきたい。電話での報告はこれからも継続していきたい。	ヶ月
2	49	入居期間が長期になるにつれて機能低下も顕著にて日常的に外出することは殆どない。	年に2～3回の法人の行事には出来るだけ参加して頂いているが日常的に散歩や買い物等に出掛ける機会を今後もっと増やしていけたらと思う。	距離と時間を要する外出は出来るだけ家族にも協力を要請し実施していきたい。近くの散歩には業務内容と当日の職員数を基に組み入れていきたい。	ヶ月
3	35	火災に対する避難訓練は年2回必ず行っているが自然災害に対する訓練は行っていない。	火災、地震、水害等に対する訓練に実施と近隣と互いに助け合う体制づくりを構築していく。普段から良い関係を作っていくことも大事。	特養が福祉避難所に指定されたことを機に年2回実施している火災訓練に参加を要請していきたい。又、地域の中で訓練が有れば出掛けたい。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。